

平成30年度 基本施策評価シート（部別）

基本目標	学び合い人と文化を育むまち
基本方針	生涯を通じて学び合うまち
基本施策名	生涯学習の推進

	所属	職名	氏名
作成者	三郷地域課	課長	赤澤哲也
評価者	市民生活部	部長	宮澤万茂留

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	平成28年にリニューアルオープンした三郷公民館は、地域の生涯学習の拠点施設として、地域で活動する文化芸術団体を中心に多くの皆様に利用いただいている。また、公民館事業では、生涯を通じた学習機会の場の提供等、生きがいがづくりや健康増進に大きな役割を果たしている。
基本方針 (目指すべき方向性)	生涯学習を通じて、自ら学び挑戦する心を育み、学んだ知識や技術が地域社会に活かされる環境づくりを進めます。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H28	H29	H30	達成率	進捗状況	所管課
生涯学習講座参加者数	人	22,674	23,000			22,339	97.1	停滞	生涯学習課
図書館利用者数	人	212,808	228,000			233,119	102.2	順調	文化課

施策指標の進捗状況と分析	
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位：円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況				重点化		
				H28	H29	H30	H31	R 2	合計	事業区分	新/継	終期		方向性	正規職員数
1	0110740	三郷公民館施設管理運営事業	地域担当（三郷）	8,399,720	9,405,810	8,877,664			26,683,194	施設の管理運営	継続	期限なし	現状のまま実施することが適切	1	
2	0110745	三郷公民館事業	地域担当（三郷）	5,435,715	5,407,164	5,172,428	5,222,000	5,222,000	26,459,307	政策的業務	継続	期限なし	現状のまま実施することが適切	1.86	
合計				13,835,435	14,812,974	14,050,092	5,222,000	5,222,000	53,142,501						

事務事業量とコスト (費用対効果)の分析	地域の生涯学習の拠点施設として、来館者が安心して気持ちよく利用できるような、施設の管理・運営を心掛けてきました。平成28年のリニューアルオープン以来、多くの市民等にご利用いただいている。光熱水費等のコスト面では、利用者にも呼びかけ節減に努めている。 公民館事業では、開催講座ほぼ全てが満員状況となり、市民ニーズに合致した学習機会を提供することができた。 また、生涯学習の成果発表の場であり、地域住民相互の親睦と交流の場でもある「三郷祭」は運動会と共に多くの皆さんに参加を頂き、当初の目的が達成できたものと思います。
重点化事務事業の考え方	
縮減・廃止事務事業の考え方	
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出)	地域の生涯学習の拠点であり、多様な生涯学習ニーズに応える場として、公民館の役割は重要であり、適切に管理された安全な施設において、市民ニーズを満足させる学習機会の場を提供していくことが、必要であると考えます。また、歴史ある「三郷祭」は生涯学習の成果発表の場であり、学習意欲の高揚にも必要な事業と思われます。併せて運動会も開催されることから、地域住民の交流の場としても重要度の高い事業と判断されます。 今後は、隣接する三郷交流学習センターとも互いに補完し合う施設として、文化振興の中心的な存在になることを期待します。

平成30年度 基本施策評価シート（部別）

基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
基本施策名	方針1 協働によるまちづくりの推進

	所属	職名	氏名
作成者	三郷地域課	課長	赤澤哲也
評価者	市民生活部	部長	宮澤万茂留

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	地域に一番身近な行政窓口として、地域課題の解決に向けた取り組みの支援など、区との連携を深めている。
基本方針 (目指すべき方向性)	協働によるまちづくりの推進と啓発に努め、地域コミュニティの再構築を進めるとともに、その活性化を図ります。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H28	H29	H30	達成率	進捗状況	所管課
市民活動サポートセンターにおける活動団体取材件数	件	14	100			8		停滞	地域づくり課
区への加入世帯数	世帯	28,973	29,300			29,009		順調	地域づくり課

施策指標の進捗状況と分析	
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位：円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費						事務事業の状況				重点化	
				H28	H29	H30	H31	R 2	合計	事業区分	新/継	終期	方向性		正規職員数
1	0102100	三郷支所等施設管理運営事業	地域担当（三郷）	26,523,441	21,169,328	20,024,842			67,717,611	施設の管理運営	継続	期限なし	現状のまま事業をすることが適切	0.9	
2	0102105	三郷地域づくり事業	地域担当（三郷）	1,844,240	2,604,440	1,849,920	1,861,000	1,861,000	10,020,600	政策的業務	継続	期限なし	現状のまま事業をすることが適切	1.09	
合計				28,367,681	23,773,768	21,874,762	1,861,000	1,861,000	77,738,211						

事務事業量とコスト (費用対効果)の分析	区が抱える課題を共有し、解決に向けた支援や情報提供などを行った。部制度導入の勉強会では、自治組織の仕組みを見つめ直す好機となった。
重点化事務事業の考え方	
縮減・廃止事務事業の考え方	
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出)	進展する少子高齢化に伴う人口減少に伴い、地域住民が主体的に参画し、支え合い・助け合いの地域づくりを進めるための、部制度の導入検討を契機に、区の組織見直しに取り組んでいくための支援や情報提供を、継続することが必要である。